

# 香教連・各単組行事の様子、御案内

## 令和元年度公開シンポジウム(兼) 第四十一回教研大会開催



一月十一日(土) 九時三十分より香川県教育会館二階会議室において、鳴門教育大学との連携事業である公開シンポジウムを香教連第四十一回教育研究大会と兼ねて開催した。また、香川県教育文化研究所との共催で、教職員の働き方改革の一手段の研究として、香川県教育会館をサテライト会場として開催した。

まず、「インターネット依存・ゲーム依存に学校・地域・家庭はどう取り組めばいいのか」の主題のもと、基調講演として国際医療福祉大学専任講師・鶴田利郎様に御講演いただいた。鶴田先生から、予防のポイントとして、「依存は『自分にも起こりうる』と実感してもらおうこと。また、ネットやゲームとの関わり方を定期的・継続的に振り返り、見直していくこと。」などアドバイスをいただいた。

次に、鶴田先生をはじめ、四国新聞社編集局報道部記者・金藤彰彦様、鳴門教育大学大学院教授(地域連携センター所長)・阪根健二様、鳴門教育大学大学院准教授・泰山裕様によるシンポジウムも開催された。シンポジウムでは、「社会はスマートフォンを一人一台の時代となりつつある。学校現場は『今の子どもはスマホを使用する』という前提に立ち、どんな使い方をすれば健康被害があるのかなど、きちんと指導し、ルール作りに取り組むべき。」や「幼児期には、保護者が利用を上手くコントロールすることも重要。」などといった議論がなされた。

香川県では全国初となる「県ネット・ゲーム依存症対策条例(仮称)」の制定に向けた協議が進められているなど、全県で取り組んでいることや、教育現場や家庭、地域が連携した効果的な対策などを考えることができた。



## 人事対策委員会開催



一月十一日(土)、十三時より、香川県教育会館において、第五回会長・事務局長会と第二回人事対策委員会を開催した。

会長・事務局長会では、一月から三月までの開催行事の案内や令和二年度の行事予定の検討、人事対策委員会では令和元年度末教職員人事異動に関する異動希望の集約や、地域間異動希望者についての情報交換を行った。

はじめに北村頭吾委員長長の挨拶の後、三月までの活動予定について報告・提案があった。

続いて、県教委人事交渉についての要望書の検討を行った。「教職員の働き方改革」が実現されていくよう、県内各小中学校における一学級三十五人以下学級の実施、小学校英語の実施にあたり各小中学校への英語専科教員の配置や英語教育充実のための小中連携事業の取組をさらに充実させるための中学校英語教員の計画的な増配置の推進、チーム学校の推進による学校の組織的増配置の推進、人材(スクールサポートスタッフや部活動指導員等)の増配置、通級指導教室の増設および中学校への拡充、人事異動に関しては本人の意志を最大限尊重すること、バランスの取れた地域間交流となるよう配慮すること等の要望内容について検討を行った。

教職員が安心して勤務に専念できる大事な要素の一つに、人事異動がある。香教連としては、本人の希望を考慮した人事となるよう教育委員会、教育事務所等へ要望している。十二月に提出いただいた香教連会員票をもとに、主に地域間異動希望がある会員についての情報交換を密に行った。



## 全日教連第八十二回評議員会開催



二月二日(日)、全日本教職員連盟第八十二回評議員会が東京・都市センターホテルで開催された。香教連からは、北村頭吾委員長(全日教連副委員長)、高木俊彦副委員長の二名が出席した。

今年度の活動経過報告や成果、来年度の活動方針、行事計画等の議案が審議された。また、組織の強化・拡大の状況や昨今の教育課題について評議員から質問があり、熱心な議論がなされた。これに対し、全日教連は、様々な教育課題に対し、国の動向を注視しながら考え方をまとめ、今後提案していくとした。

最後に、本年度をもって退任する全日教連役員が紹介され、その労をねぎらった。

## 講師部研修会のお知らせ

令和元年度第六回講師部研修会を下記日程にて開催する。令和三年度公立学校教員採用選考試験に向けて、スタートの研修にしたいと考えている。多くの講師の先生に御活用いただきますよう、同封のチラシを貴校の講師の先生方にお見せいただき、お声かけをお願いいたします。



- 日時 令和二年三月七日(土) 午前九時三十分〜十二時
- 場所 香川県教育会館三階第三会議室
- 内容 ・令和二年度教員採用選考試験を振り返って ・時事通信社プレイバック模試

※問い合わせは、香川県教職員連盟事務局まで